

社会保障関連統計の整備に向けた御意見について

橋本審議協力者からの意見を踏まえた課題	次期基本計画における取扱い等(案)
<p>1 統計調査におけるサンプリング・デザイン・調査方法について</p> <p>(1) サンプリング</p> <p>① 大規模調査年と中間年における集計値の整合性</p> <p>② 母集団情報として活用している大規模調査と後継調査の整合性</p> <p>③ 関連する統計調査間の整合性</p> <p>(2) デザイン</p> <p>① パネル調査における調査項目の設定</p> <p>② 調査手法の見直しに際しての検証の必要性</p> <p>③ 都道府県表章の充実</p> <p>(3) 調査方法</p> <p>① 調査員トレーニングの充実の必要性</p> <p>② CAPI など新たな調査方法導入に係る検討の必要性</p>	<p>○ 調査実施者は、調査の標本設計においては、母集団の復元性、他統計との整合性等の分析を調査実施後に定期的に行い、精度を保つように努めなければならないが、そのような視点を次期基本計画で実施する予定の統計調査の棚卸し活動や、事後評価の視点として考慮していくこととしてはどうか(共通基盤WGとの調整が必要)。</p> <p>○ パネル調査の実施に当たっては、有識者等から構成される研究会を設置し、分析・利活用を視野に入れた調査項目の設定を行っているかを、次期基本計画で実施する予定の事後評価の視点として考慮していくこととしてはどうか(共通基盤WGとの調整が必要)。</p> <p>○ 調査設計を変更する場合には、事前に広く有識者等の意見を聴きつつ見直しを行うべきであり、ニーズの把握については、その把握方法も含めて検討していくことを次期基本計画に盛り込むこととしてはどうか(共通基盤WGとの調整が必要)。</p> <p>○ 次期基本計画においても、引き続き地域別表章の充実に取り組むことを盛り込むこととしてはどうか(共通基盤WGとの調整が必要)。</p> <p>○ 調査方法に係る課題については、人材育成や統計の精度向上・効率化の観点から、調査員トレーニングの充実や新たな調査方法の導入を検討していくことを次期基本計画に盛り込むこととしてはどうか(共通基盤WGとの調整が必要)。</p>
<p>2 異なる統計間のデータリンケージ(特に、世帯系調査における統計的マッチング)</p>	<p>○ 「統計委員会が主導する統計に関する研究の推進」について検討する際に参考にしてもらうこととしてはどうか。</p>
<p>3 統計データの利用促進について</p> <p>① 二次的利用に係る省庁横断的対応(ワンストップ窓口)の充実</p> <p>② データ利用申請事務の統一化・簡素化</p>	<p>○ 統計データの利用促進に係る課題については、共通基盤WGにおける、二次的利用の審議において次期基本計画での記述を検討。</p>